

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・最低賃金の引上げ及び実質賃金の増加も伴い、個人消費が少しずつ伸びてくるとみている。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門はイベント関連で予約状況も良く、料飲部門も新型コロナウイルス感染症発生前を超える予約状況になっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・10月以降も近隣で大きなイベントがあるため、更なる来場客を見込んでいる。8月から続いているため、良くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・観光立地であり、冬のシーズンは中長距離の移動者や県内の移動者の増加が見込まれる。ギフト商材や飲料、食料品を中心に消費は活発となる。
	○	コンビニ（店長）	・クリスマス等のイベントがあるため、高単価商材が売れるようになるとみている。
	○	その他専門店（総務担当）	・季節柄需要が見込まれる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・国政選挙から地方選挙を経て、景気が向上することを期待する。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・先の予約や問合せが若干増えてきているため、年末に向けて活発に動くのではないかと予想している。
	○	一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンになるため来客は増える。客単価がどうなるか予想がつかない。
	○	都市型ホテル（経営者）	・大人数での飲食が戻ってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は前年よりも団体予約を受注しており、稼働率が90%に迫る勢いで堅調である。料飲部門も秋の行楽シーズンで、ランチストップの予約を受注しており、前年比101～104%とこちらも堅調に推移している。宴会部門は1件当たりの単価は上がっているものの、件数が伸び悩んでいる。業界団体等の利用は戻りを感じているが、個人での宴会利用の戻りは鈍い。
	○	旅行代理店（経営者）	・今年は繁忙期が11月末までになりそうである。
	○	通信会社（営業担当）	・前年と比べれば、コロナ禍が完全になくなり、外食を含めた消費マインドは高くなっている。しかし、総合的にみた消費は若干の改善にとどまるとみている。基本給のベースアップができない企業等は、ボーナスで賃上げすることから、年末消費への後押しになる可能性が見込まれるためである。
	○	テーマパーク（職員）	・今年は11月まで毎月3連休があることに加え、秋の寒さに後倒しされ、来園者数が伸びるのではないかと期待している。
	○	競輪場（職員）	・売上の増加傾向が続いている。
	○	美容室（経営者）	・商店街のイベントがあるため、売上の足しになるかと期待している。
	○	設計事務所（所長）	・新政権誕生で、良くなることを期待したい。
	□	商店街（代表者）	・個人の収入が増えているのかみえないなかで物価の上昇が続き、天候不順も伴って先行きは暗い。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・国内では新内閣が発足したり、米国で大統領が決定したりして変化があるかもしれないが、諸外国の戦争がまだ終結しないため、先行きが良くなる見込みはない。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年にない暑さと豪雨が続けているものの、売上は前年を上回る状況が続いている。近隣の同業店主から、学生旅行が堅調であるため、売上はこのまま良い状況が続くと見込んでいるものの、人手不足がなかなか改善されないことから、これ以上の売上を見込むことは厳しいという話も聞いている。12月初旬までは紅葉シーズンのため、売上機会の損失をなくす努力が必要な局面となっている。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・今はお盆や催事も終わり、売上は一服している。	
□	一般小売店〔青果〕（店長）	・10月後半にかけて、九州物や地物野菜が出回ってくれば、相場も少しは下がってくるのではないかと。そのときに、飲食店等がたくさん使ってくれればと願っている。	
□	百貨店（営業担当）	・物価高は継続し、消費者の慎重な消費行動も変わらないと予想される。	

□	百貨店（営業担当）	・9月下旬に入り、気温の低下とともに衣料品や寝具の動きも改善傾向にあるが、価格高騰や値上げの影響は大きく響くとみている。地域的にモチベーションは強いいため、年末年始の季節の習わしに沿った食料品関連の売行きに期待を待てるものの、衣料雑貨については、これまでの傾向が継続されると考えられる。
□	百貨店（店長）	・売上については堅調に推移するものの、上昇も下降もない状況である。
□	スーパー（総務担当）	・米の値上がり等、物価上昇が影響している。
□	コンビニ（店長）	・年齢、性別、職業等、近隣住民の構成に変化がない。
□	家電量販店（店員）	・季節要因が大きく左右すると見込まれるため、気温の冷え込みが期待される。
□	家電量販店（営業担当）	・今後は経済動向や生活がどのようになるのかが不透明な状況である。政治の安定が急務ではないか。
□	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは相変わらず輸出が好調で、生産台数が通常の120%近くで推移している。この良い傾向が地域全体に反映されるとよいが、物価上昇でどうなるか分からない。
□	自動車備品販売店（経営者）	・ここ数か月、世の中や身の回りのムードが下がっている状態が続いている。企業誘致、人口増加、何かしらの経済対策等、現在から将来に向かって良くなるような、前向きな話が何もない。客も萎縮している。
□	住関連専門店（仕入担当）	・為替の変動で円高に振れることで物価上昇トレンドは収まってくるとはみているが、それがどのような影響として表れるのか。今後も、政権政党の総裁選挙や、予想される衆議院解散総選挙、米国大統領選挙等の不確定要素が多く、個人消費が底上げされる要因は見当たらない。
□	旅行代理店（従業員）	・円安には変わらないため、大きく影響はしない。
□	旅行代理店（営業担当）	・物価上昇は落ち着きが見えず、しばらくは様子を見る必要がある。
□	タクシー運転手	・地方では、なかなか景気の良い話が聞けない。会社関係で1番先に経費削減するところはタクシー代のように、飲み会でのタクシーチケットをもらえなくなったそうである。
□	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くないため、この先も変わらない。
□	通信会社（社員）	・現時点では変わらないとみている。
□	通信会社（局長）	・やや円高傾向に推移してきたが、消費の現場ではまだ影響は出ていない。短期で反響が出るか不明である。逆に、10月からの値上げ商材もあり、回復の実感がない。今後の動向に期待している。
□	ゴルフ場（従業員）	・トップシーズンになるため、コンペ予約も回復してきている。予約状況は前年並みだが、パーティーや賞品購入の減少が懸念される。
□	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	・地方は景気浮上の兆しもない。
□	住宅販売会社（経営者）	・金利上昇による特需があるかとみていたが、インパクトは小さく動きは少ない。金利も急激には変化の気配がないため、変わらない。
□	その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（営業）	・リフォームやリノベーションは切り口を変えながら提案を行っているものの、いまだ生活防衛意識が強く、なかなか受注に結び付いていない。
▲	百貨店（店長）	・現在の消費の主力になりつつあるインバウンドに、先行き不安がある。
▲	スーパー（商品部担当）	・良くなる理由は見当たらず、現状維持すらままならない状態が続くことが予想され、回復の兆しが見えない。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・季節の変わり目もあやふやな雰囲気が背景にあり、人出が悪い。出掛けていくところがなければおしゃれもしないという繰り返しで、負のスパイラルが続いている。その先には、底なし沼が続くのではないかと、じりじりと悪くなり続けていくのではないかと懸念がある。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注残の減少が続いているため、今後も厳しい状況が続く。

	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食に欠かせない米の単価上昇は、新米が出てきても続く様相である。また、最低賃金引上げに伴う給与アップ等、コスト増加要因がめじろ押しとなっている。一方で、取引条件の見直し交渉を継続しているが、期中での見直しは難しい面もあり、収支悪化が懸念される。	
	▲	旅行代理店（所長）	・10月も暖かいどころか暑いという予報から、紅葉も遅れそうな気配だが、オフシーズンに向かうことから、来訪者数は徐々に減少していくと想定している。そうしたなか、堅調に伸びている外国人来訪者数の減少が、最小限に収まることを期待したい。	
	▲	通信会社（総務担当）	・販売をけん引するはずの商材の新モデルが今月発売されたが、動きがなくて悪い。	
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・結局、増税の話しか出てこないが、客はその辺りは敏感である。手取りが上がらないのに、物は買う。物価が上がったために買えないと言っている客が非常に多い。まして、食料品以外の物に関しては、出し渋っている。	
	×	一般レストラン（経営者）	・生活に余裕が出てこない、外食の頻度は減る一方である。	
	×	通信会社（経営者）	・物価が上昇しているため、買い控えは続いている。所得が上がっているのはほとんどが大企業であり、地方の中小零細企業は、輸出関連企業以外は仕入高騰でむしろ内情は悪い。ましてや、地方の顧客は高齢者が多く、ほとんど年金受給者となれば物が売れないのは必然ではないだろうか。	
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件の立ち上げ予定もあるため、現状よりは回復する見込みである。	
	○	経営コンサルタント	・大手企業の賃上げや地方の最低賃金の引上げ等により、消費促進に多少の効果も期待できる。また、地域企業の受注動向も少しずつ持ち直す傾向がうかがえ、生産や販売面の業績回復が見込まれている。	
	□	化学工業（管理担当）	・固定客への販売量は何とか維持しているものの、新規の引き合いがない。	
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・大きな動きはないとみている。	
	□	金属製品製造業（経営者）	・取引先の内示からの予想では変わらない。	
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先に値上げの申請を行っているが、なかなか思うようにはいかない。かなり厳しい状況である。	
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・1か月先のことも分からないが、今後2～3か月先となるとまるで分からない。電気自動車が少し落ちてきて、エンジン自動車の方が、若干戻ってきたようである。これからは大いに変動するとみている。	
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産が安定していないこともあり、当社の生産も計画どおりに進まず、減産傾向が続いている。いまだ見通しが立たない状況にある。	
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もいまだに続いている。	
	□	輸送業（営業担当）	・季節替わりで、冬物家電、暖房器具、こたつ、ヒーター、エアコン等は前年並みの物量を確保予定である。レジャー用品、キャンプ、バーベキュー用品、ウォーキングシューズ等の物量も確保予定である。しかし、2024年問題によるドライバー不足が発生しており、発送遅れや運賃高騰等は今後も続き、しばらく厳しい状況は変わらない。	
	□	金融業（営業担当）	・金利のある世界への移行や人材確保の問題等があり、様子見の状況である。	
	□	司法書士	・周辺人口が6万4～5千人の市とその周りの郡部なので、余り大きな変化はないが、やや良い状態で推移していくとみられる。	
	□	社会保険労務士	・今と変わらないと思うが、政権政党の新総裁が大型補正予算を組めば変わるかもしれない。	
		▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・この頃は商材の動きが鈍っている。継続した値上げが響いているのではないか。この先がやや不安である。
		▲	一般機械器具製造業（経営者）	・現在取り組んでいる大型案件が終了すると、受注残が僅かになってしまうため、やや悪くなる。

	▲	建設業（総務担当）	・全体的な仕事量がまず足りていない上に、発注予定も少ないため、大変不安である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・中国の経済悪化が、悪くなっている1番の原因である。家電も景気が悪い。
	×	建設業（開発担当）	・今期がスタートして半年だが、公共工事発注額は増加している。今後も受注を確実にして決済まで全力を尽くしたい。
	×	不動産業（管理担当）	・社会保険加入者範囲の拡大により、会社のコスト負担が大幅に増えるため、利益率が下がる。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・住宅関連や、生産関連では自動車部品、IT、AI等、天候が落ち着けば、季節的にこれらの関連業種は伸びていくとみている。生鮮食料品、米はやや心配だが、季節が落ち着けば、これらの購買力も上がってくるのではないかと。
	○	人材派遣会社（社員）	・当社周辺の客、宿泊施設や仕入業者の話を見ると、経済の状況等は変わらない。これから紅葉の時期になると、例年どおりの集客はあると思うし、現在も外国人観光客がたくさん来ている。また、プラスアルファとしては最低賃金上昇の影響が多少あるのではないかと。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・今後の政局の動向次第で大きく影響を受けると考えるが、新たな方向へ向かうため、やや良くなるのではないかと。
	□	人材派遣会社（社員）	・サービス業や事務関係の専門職の求人依頼は多いものの、要件を満たす人材が不足している状況に大きな変化がない。
	□	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人数の前年同月比について、医療福祉、卸、小売、サービス業については増減を繰り返しているものの、木造建築の建設業については、減少傾向で推移している。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・正社員の希望者が多く、派遣社員の集まりが悪いため、派遣採用数は減少する。
	×	—	—